

**製品名:** ベータカテニンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe03746

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 85 kDa; Observed MW: 85 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CTNNB1
別名	CTNNB1; CTNNB; OK/SW-cl.35; Catenin beta-1; Beta-catenin
遺伝子 ID	1499
SwissProt ID	P35222
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

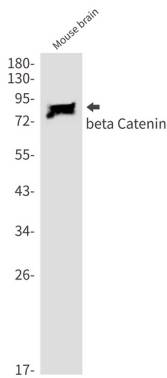
$\beta$ -カテニンは接着結合タンパク質です。接着結合（AJ、接着帯とも呼ばれる）は、臓器表面を覆う上皮層の形成と維持に不可欠で

す。AJは細胞間の接着を媒介し、隣接細胞の存在を示すシグナルを伝達し、アクチン細胞骨格を固定します。これらの役割を果たすことで、AJは正常な細胞の成長と挙動を制御します。

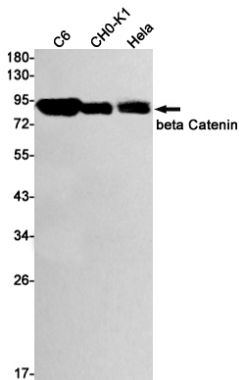
## 研究分野

シグナル伝達

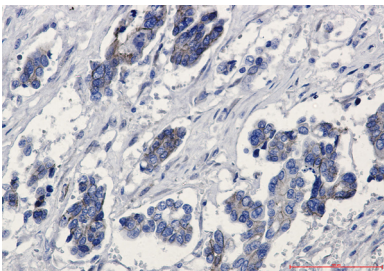
## 画像データ



ベータカテニン抗体を使用したマウス脳溶解物中のベータカテニンのウエスタンブロット分析。



ベータカテニン抗体を使用した C6、CHO-K1、Hela 溶解物中のベータカテニンのウエスタンブロット分析。



$\beta$ カテニン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。